地域でがん相談支援センターを 活用していただくための取り組み

一三重県の現状と課題ー

三重県がん診療連携協議会 がん相談支援部会 三重大学医学部附属病院 鈴木志保子

三重県の地域特性

南北に長く、南部の多くは山地

拠点・推進病院は北部・ 中部に集中



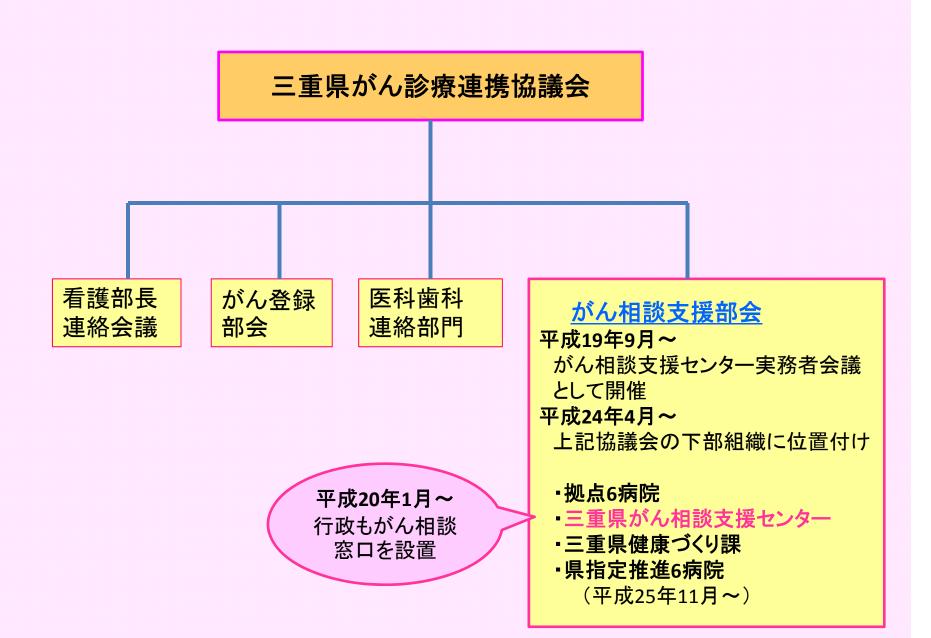
南部にはがん相談 支援センターが無



- ★地域拠点病院 5施設
- ★都道府県拠点病院 1施設
- ★県指定推進病院 6施設

がん相談支援部会の活動

がん相談支援部会の位置づけ



がん相談支援部会の活動内容①

がん相談支援部会規約 (活動内容)

- ◆ 相談員間でのがん医療およびがん 相談に関する情報の共有と集約
- ◆ がん相談員のがん医療に関する知識の習得と相談技術の向上
- ◆ がん相談員を対象とする研修会等の 企画実施
- ◆ がん相談活動の広報

拠点病院相談員 同士は顔の見える 連携ができている

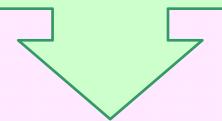


年3回開催 各施設1~2名参加

がん相談支援部会の活動内容②

★県内がん相談員対象に アンケート調査を実施 (平成24年9月) 24施設 42名から回答

がん相談員のニーズを把握する



- ・医学的知識や情報を得たい
- 相談のスキルを学びたい
- ・コミュニケーションのスキルを学びたい
- ・グリーフケアができるようになりたい
- 適切な連携をはかる能力を得たい
- ・患者に必要な支援体制を構築する能力を得たい
- ・相談支援のシステムと現状について 他施設との情報交換をしたい

★がん相談員研修会 平成25年12月8日(日)開催予定

講義内容: 講義①「わが国のがん対策」

講義②「相談員の役割と相談支援のプロセス」

グループワーク

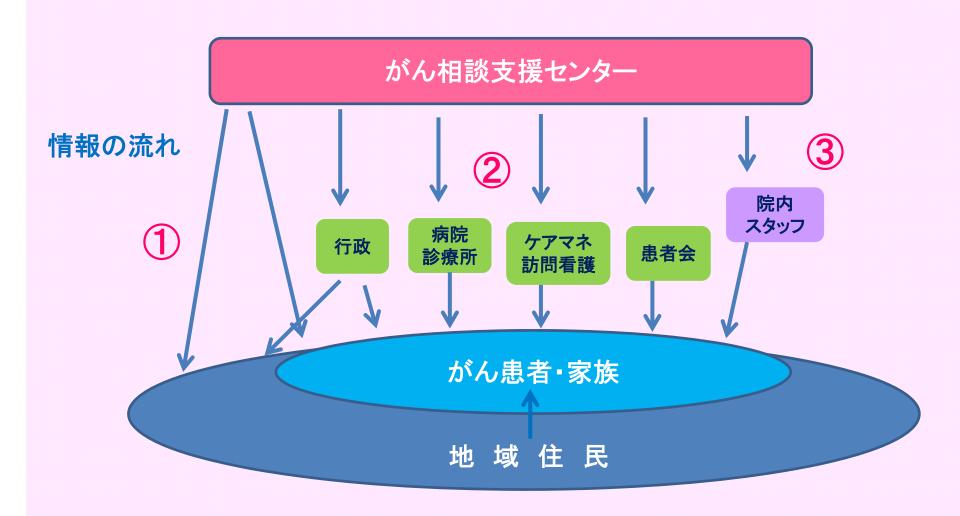
ロールプレイ、グループワーク

がん相談支援部会の活動内容③



がん相談支援センターの 周知に向けた活動

周知への情報の流れ



がん相談支援センターの存在を知っていただく

①地域住民への周知活動

- ・各拠点病院でのポスター掲示・リーフレット配布
- ・各拠点病院市民公開講座でのリーフレット等の配布



クローバーカード (三重中央医療センター)

- ・地域住民向けセミナーでの講演
- ・各種イベントでのPR ・マスコミの利用



地域でのがん患者さん たちのコンサートと相談 員による講演会 (鈴鹿中央総合病院)

患者主体の取材

・行政、各がん相談支援センター HPでの広報



HP(伊勢赤十字病院)

・三重県立図書館との連携



員による講演会 図書館内にて (鈴鹿中央総合病院) 「がんと暮らす」展示 ・患者必携 三重県がん療養ガイド





医療・健康コーナーを設置 がん相談リーフレットや冊子を配布

②地域関係機関への周知活動

- ☆個々の相談事例を通じての関係性の構築
- ☆地域で行われている各種交流の場(地域連絡会、 セミナー、勉強会等)の有効活用

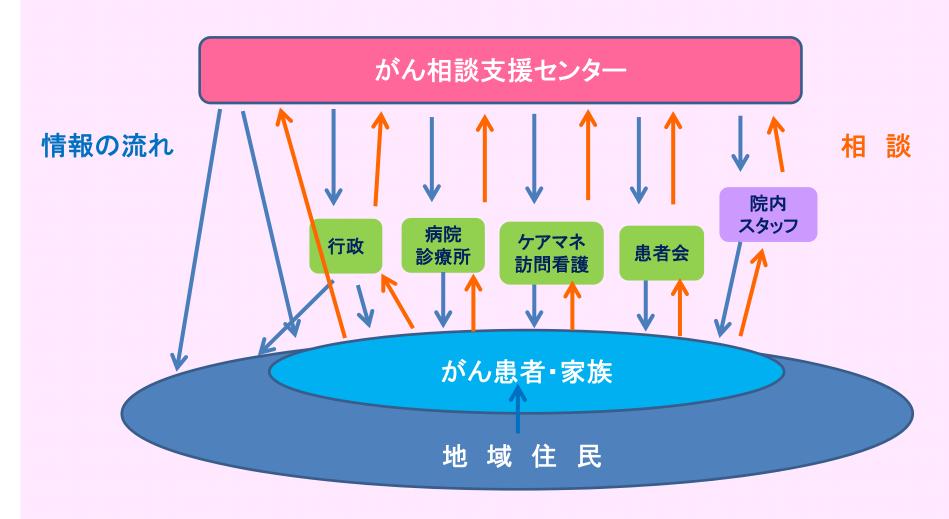


地区医師会への挨拶まわり(伊勢赤十字病院)

③院内スタッフへの周知

- ☆病院でのポスター掲示、リーフレット配布
- ☆緩和ケアチームへの参加
- ☆患者サロンへの院内スタッフの参加
- ☆院内での患者向け勉強会、がん相談会へ の院内スタッフの協力要請
- ☆院内勉強会での講演

相談経路



相談が必要な患者・家族ががん相談支援センターにつながる

今後取り組むべき課題

認知度向上に向けた活動の強化

☆相談者の情報収集先の分析

どこで、誰から「がん相談支援センター」 の情報を入手したか?



☆効果的なアプローチ先・方法の見極め

強み、弱みがわかった上で、より効果的な アプローチ先・アプローチ方法を検討



☆ 部会としての組織的な周知活動
各がん相談支援センターでの周知活動とともに
部会として組織的な活動が必要

相談しやすい環境の整備

- ・・患者・家族、地域住民の不安や心配など、 どんな些細なことでも相談できる環境
- ☆必要なときにいつでも利用できる場
- ☆地域関係機関、院内スタッフからつなげていただきやすく、相談しやすい環境

がん相談の質の向上

- ☆ーつーつの適切な相談支援の 積み重ねが大切
- ☆相談員研修の充実

満足度の向上

(患者・家族、院内スタッフ、地域関係機関等)



周知につながる

ご清聴ありがとうございました

東海・北陸ブロックのみなさまと よりよい連携を行っていきたいと思います。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



がん相談支援部会一同